

ドラッグストア経営統計 2009 ダイジェスト

ここに掲載する統計類は、H C I が別途発刊している経営統計集からのダイジェスト版です。

今回の調査を集計した「ドラッグストア経営統計 2009」は10月中旬に発刊予定です（予価：8,000円）。

Dg. S 市場の詳細や時系列の変化、各都道府県別の現況などについては、その統計集にて詳細をご報告致します。

A) 調査の方法

1. 調査期間：2008年5月30日～7月31日
2. 集計数 [ドラッグストア]：278社 8,566店
3. 調査方法：アンケート調査票を各社に郵送し、回答して頂いた。返送のなかった企業については、ウェブサイトや電話等で取材した。それでも確認できなかった企業については、諸刊行物などを参考にした。
4. 調査対象：屋内売場面積 90坪以上のドラッグストア (Dg. S)。

B) 数値の取扱い

1. 年商高は、できるかぎり最新決算の結果を採用した。開店して1年を経過していない店舗については、通年の売上高になっていない場合もある。
2. 売場面積＝屋内売場面積とした。（屋外売場を含まず）
従業員数＝社員＋パートタイム（月160時間換算）とした。
※殆どの数値は、適当な位で四捨五入した。

C) 市場規模の計算方法

Dg. S の市場規模とは、90坪以上の Dg. S の店年商を合計したもの。したがって、Dg. S 経営企業の企業年商高の合計ではない。

店年商のアンケート回答を得られなかった店舗は、下記の方法で推計した。

- ①有価証券報告書などにより年商高が判明した店舗は、その数値を用いた。
- ②企業全体の年商高が判明した場合には、その企業の坪当たり年商高を計算した上で、各店の屋内売場面積に掛けて店舗年商高を推計した。
- ③企業年商高が不明な店舗は、①と②の売場規模ごとの全店の坪当たり年商高の平均を算出し、該当店舗の売場面積に掛け、各店舗の年商高を推計した。
- ④上記②、③のうち開店して1年未満の店舗は、営業日数に準じた店年商に修正した。

D) 参考資料（主なもの）

上場各社の有価証券報告書、決算短信、月次報告書／総務省自治行政局「住民基本台帳」／各社のウェブサイト／日経MJ／他

E) 調査：(株) 日本ホームセンター研究所(HCI)

円谷仁美、小針恵美子、平田春奈、三村正枝 ※集計・分析：田中典衡

■ ドラッグストア市場規模の推移

市場規模、店数共に堅実に成長

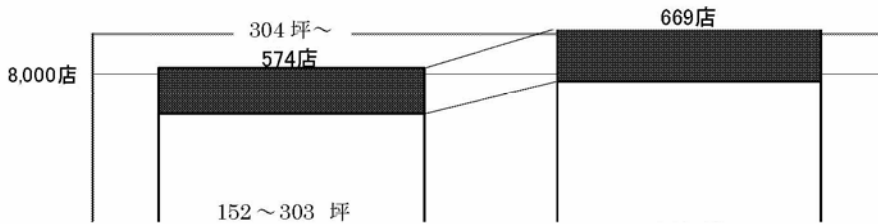
■ ドラッグストアの市場規模

2008年7月31日現在

| | 2008年 | 前年比 | |
|-----|-------|--------|-------|
| 企業数 | 278社 | 98.6% | 4社減 |
| 店舗数 | 8566店 | 106.1% | 496店増 |

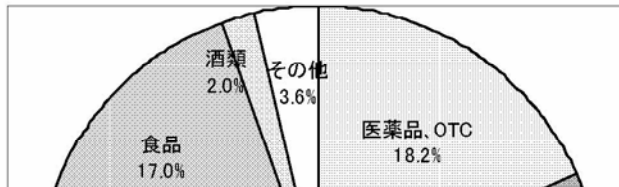
■ ドラッグストア売場規模別の傾向

出店の主流は中型店



■ ドラッグストア商品部門別統計

HBC関連が構成比を伸ばす



■ ドラッグストア 1社当たり平均値

店数30店、売上121億円が平均像

● ドラッグストア経営企業の1社当たり平均値

| | 2008年 | 前年比 | 有効回答 |
|-------|-------|--------|------|
| 経営店舗数 | 30.8店 | 107.7% | 278 |